

確認テスト「名詞」

次の空欄を埋めなさい。

- 名詞とは(1)を表します。物の名称や人名、「～すること」といった行為そのものを指す場合もあります。
- 名詞で覚えておくべきことは、(2)と(3)と(4)です。
- 問 5:(10)について具体的な単語を3つ答えなさい。

種類	(6)	(7)	(8)
特徴	<ul style="list-style-type: none">• (9)を表す。• 具体的には人名や地名など。• 基本的に(10)が付かない。• (11)から書き始める。	<ul style="list-style-type: none">• 数えられる名詞。• “s”や”es”をつけて(12)にできる。• 単数形の際は(13)で、(14)が必要。	<ul style="list-style-type: none">• 数えられない名詞。• 複数形が存在せず、常に(15)で使われる。
例	Ken, UNIQLO, Saitama など	apple, pen, orange など	water, bread など

確認テスト「代名詞」

下の空欄を埋めなさい。

	主格	所有格	目的格	所有代名詞
私				
あなた				
彼				
彼女				
それ				
私たち				
あなたたち				
彼ら 彼女ら それら				

下の問いに答えなさい。

- 1) 「所有格」は名詞の前に付き「～(持ち主)の名詞」を表す(33) () 詞)として働く
- 2) 目的格は主格の単語を(34) () 語)として使用するとき用いられる形
- 3) 「所有代名詞」とは(35) () を表す(36) () 詞)
例: “mine” 「私の物」 “his” 「彼の物」
- 4) “It” の所有格 “Its” は(37) () の短縮系である(38) () と混同しないように注意

確認テスト「動詞」

次の空欄を埋めなさい。

- 動詞とは(1)を表す。
- 動詞で覚えておくべきことは、(2)と(3)の2つ。

種類	(4)	(11)
特徴	<ul style="list-style-type: none">• (5)を取らない動詞。• 直後に(6)が置かれない。• 次に来るのは主に(7)か(8)か(9)か(10)の4種類。	<ul style="list-style-type: none">• (12)を必ず取る動詞。• 次に来るのは必ず(13)
例	be 動詞、go、live など	want、read、buy など

- 問 14: (5)(12)とは何詞のことか答えなさい。

確認テスト「形容詞・副詞」

次の空欄を埋めなさい。

形容詞

- 形容詞とは(1) _____)を表す。
- 形容詞は、(2) _____)で使われる時と(3) _____)と一緒に使われる時がある。
- 形容詞が(3)と一緒に使われている時、それを(4) _____)または(5) _____)と表現する。
- 『形容詞 + (3) = (6) _____)』

副詞

- 副詞は、(7) _____)の程度や状態を表す。
- 問 8: (7)とは具体的には何のことか。4 つ書きなさい。

- 副詞が他の品詞を修飾した場合、まとめて(9) _____)になる。

確認テスト「五文型」

次の空欄を埋めなさい。

五文型とは全ての英文が属する文の構造のことである。基本的に全ての英文は『五文型』のいずれかの形に必ず分類できる。
下の表を埋めなさい。

文型	文の構造
第一文型	
第二文型	
第三文型	
第四文型	
第五文型	

下の表は『五文型』の構成ルールです。空欄を埋めなさい。

ルール 1	文型は、主語の(6)動詞の(7)目的語の(8)補語の(9)の4つで構成される。
ルール 2	<ul style="list-style-type: none">名詞は(10)・(11)・(12)のどれかに必ずなる。動詞は他動詞・自動詞に関係なく必ず(13)になる形容詞は単体で使われている場合は必ず(14)になる
ルール 3	(15)はルール 1 のどれにもならない。
ルール 4	前置詞+名詞は(16)と言う。 (16)は(17)または(18)として働く。
ルール 5	「冠詞 + 名詞」はまとめて1つの(19)になる。

第一文型確認テスト

次の問題に答えなさい。

- 第一文型は名詞+動詞の「(1)+(2)」の形である。
- 前置詞句は「(3)+(4)」の構成により作られる。
- 前置詞句は(5)または(6)として機能する。
- 前置詞句が持つ 6 パターンの用法を全て答えなさい。
 - (7)
 - (8)
 - (9)
 - (10)
 - (11)
 - (12)

第二文型確認テスト

- 第二文型は名詞+動詞+補語の「(1)+(2)+(3)」の形である。
- 五文型のルール上、「C」(補語)になれるのは(4)と(5)のみである。
- 第二文型は意味、構造の特徴として、(6)という特徴がある。
- 第二文型は S+V+名詞で作ることができるが、この場合名詞は「SVOC」のうち(7)か(8)の可能性もあるため判別が必要になる。
- もし S+V+名詞の名詞が「O」の場合は第(9)文型になる。
- 第二文型を作ることのできる(10)は決まっている。基本的に(11)と覚えておけば良い。

第三文型確認テスト

- 第三文型は名詞+動詞+目的語の(1)+(2)+(3)の形である。
- 第三文型は「S+V+名詞」の形を取るが、「S+V+名詞」の文章は第(4)文型か第(5)文型の可能性がある。
- 第二文型と第三文型の見分け方は第二文型の特徴である(6)を確認すること。
- (7)なら第二文型
- (8)なら第三文型となる。

第四文型確認テスト

- 第四文型は主語+動詞+目的語 1+目的語 2 の(1)+(2)+(3)+(4)の形である。
- 第四文型の訳し方は、『(5)は(6)に(7)をVする』という意味になる。
- 第四文型の目的語 1 と目的語 2 は(8)の関係になっている。
- もし第四文型の V の意味が分からなければ(9)という訳で代用できる。
- 「I give him a pen.」という文章を和訳しなさい。
(10)

第五文型確認テスト

次の問題に答えなさい。

- 第五文型は主語+動詞+目的語+補語の(1)+(2)+(3)+(4)の形である。
- 第五文型は構造上2つの特徴がある。
 - 1) (5)が成り立っていること。
 - 2) OとCが(6)の関係であること。
→ つまりこれは(7)または(8)と訳せるということである。
- 第五文型の訳し方は次の3つのうちどれかになる。
 - Sは(9)
 - Sは(10)
 - Sは(11)
- もしVの意味が分からなければ次の和訳をしておくこと大きな誤訳を防ぐことができる。
 - Sは(12)
 - Sは(13)
- 「You make me happy.」という文章を和訳しなさい。
(14)

To 不定詞確認テスト

次の問いに答えなさい。

- To 不定詞とは(1:)+(2 :)の組み合わせで構成される。
- To 不定詞は(3: 詞)(4: 詞)(5 : 詞)のどれかになる。

【判別のしかた】

各用法の名前と判別方法を答えなさい。

(6):

(7):

(8):

【練習問題】

それぞれ品詞分解し to 不定詞が何用法であるか答えなさい。

(9): To learn English is important.

(13): I want something to drink.

(10): I want her to study English.

(14): I want to play soccer.

(11): I work to be rich.

(15): I have a book to read.

(12): My job is to help people.

分詞 確認テスト

次の問いに答えなさい。

- 分詞には、(1:)と(2:)の2種類が存在する。それぞれ、
 - 動詞+(3:)の(4:)分詞
 - 動詞+(5:)または(6:)の(7:)分詞である。
- そしてこの2種類の分詞が、(8:)(9:)(10:)の3つの品詞としての働きを持つ。

次の表を埋めなさい。

	(11:)	(12:)
(13:)	○	×
(14:)	○	○
(15:)	○	○

- 2種類ある分詞はそれぞれ訳し方が異なる。それぞれ、
 - (16:)分詞は(17:)または(18:)
 - (19:)分詞は(20:)または(21:)
- 例えば、“bore”という単語は、(22:)という意味の他動詞である。これをふまえて、次の例文を訳しなさい。
 - My teacher is boring. (23:)
 - I am bored with my teacher. (24:)

分詞の判別方法をそれぞれ答えなさい。

- (25):
- (26):
- :副詞的用法:「副詞句, SV」または、「SV, 副詞句」となる。

次の文を品詞分解し、分詞の種類、用法、日本語訳を答えなさい。

(27): Playing soccer is fun.

(28): I like playing soccer.

(29): Japanese is the language spoken in Japan.

(30): I heard the girl crying. (“heard”は”hear”の過去形/”cry”は「泣く」という意味の自動詞)

(31): I heard my name called. (“call”は「～を呼ぶ」という意味の他動詞)

接続詞・関係詞確認テスト

- 1文に動詞が1個以上使われているように見える時、その文には(1)または(2)が使われている。
- (1)と(2)は(3)と呼ばれる単語の群れを作る。
- (3)は(4)または(5)または(6)の働きを持つ。

(3)の判別のしかたを答えなさい。

- (7):
 - (8):
 - (9):
-
- 関係詞のうち、(10) (11) (12)の3単語は(13)という働きを持つ。
 - (13)とは、関係詞と(14)の働きを同時にこなす万能選手である。
 - (10)(11)(12)が(13)として働く時、その関係詞節は必ず(15)となる。
 - 関係詞節の直前の名詞が人物なら(16)
 - 関係詞節の直前の名詞がモノなら(17)を用いる。

接続詞と関係詞は時折省略が可能である。

省略可能なパターンは以下の2つの場合のみ。

それぞれ省略できる条件と、節が何詞になるか答えよ。

- (18):
- (19):

裏面にも問題があるので注意すること。

次の文章を接続詞・関係詞は○で囲み、節は[]で囲い、品詞分解しなさい。
省略時は適切な語を補うこと。

20. I think that he studied very hard.

26. The woman I wanted to see is Atsuko Maeda.

21. If you like me, I am happy.

27. I found the key you lost.

22. I don't know if she likes me.

28. I don't know the singer which he loves.

23. The man who took my pen is Yosuke.

29. I don't know the name of the person who called me.

24. I think he is foolish.

30. The woman who lives next door is a doctor.

25. All you need is to click here.